

# 2016年度 学校法人ABK学館 自己点検・自己評価

学校法人ABK学館では、学則第4条ならびに同細則に基づき、以下の通り、「自己点検・自己評価」の実施ならびに公開を行います。

実施時期:2017年2月1日  
実施項目:10項目  
評価詳細:以下の通り。

## 1. 教育の理念・目標

①学校の設立理念が明確で教職員に周知され、理解されている。

【達成度 A<sup>+</sup>】

本校に採用される教職員には入職時に、本校設立の基となった、穂積五一先生の穂積理念(人間的和合、互惠協力)が記載された就業規程を渡して説明している。  
また、同理念を学生に周知、理解してもらう取り組み、「穂積五一先生記念賞作文コンテスト」を、毎年、実施している。  
今年度は、穂積先生が書かれた「内観録」に触れたことのない教職員に、同書を読んでもらい、コンテスト題材を作るなどし、さらに学校理念の徹底を図った。

②学校の運営目的・目標が明確で教職員に周知され、理解されている。

【達成度 A<sup>+</sup>】

本校は、上述のように穂積先生の理念を基に設立されたが、これまで本校の母体は60年にわたって、アジアの人々との間に信頼関係を築いてきた。本校は、この「信頼関係に基づく強固な人間関係(ヒューマンネットワーク)」を、学校教育においても育むことを目指している。この運営目的・目標を達成させるため、学校の日本語クラス以外の取り組み、一泊研修旅行、学習発表会などの活動や卒業生などに集まってもらうホームカミングデーにも力を入れている。

③学校が育成しようとする人材像が明確になって、それに向けた取り組みが学校一丸となってされている。

【達成度 A<sup>+</sup>】

本校は設立理念を基に、「国際社会における人的交流に貢献する人材を育成する」と人材像を学則で明確に示している。「国際社会における人的交流」とは、宗教、思想、文化、社会体制、言語等の相違があっても、相違を尊重し、相互に理解し、敬意、コミュニケーションを図ることを指す。  
また、「それに貢献する人材」とは、日本語やアジアの言語の学習を通じて、上記の相違を理解し、尊重し、コミュニケーションを促進させることに貢献できる人材、またその潤滑油になる人材を指す。  
これらの人材作りの一環として、クラス内授業だけではなく、学生寮を運営をする、設立母体のアジア学生文化協会と共同して、在寮する、大学、大学院に所属する留学生や日本人大学生との活動、行事など、日本語学校の枠を超えた取り組みを行っている。

④教育の理念や目標は、社会のニーズと合致しているか学校、教職員が絶えず注意を払っている。

【達成度 A<sup>+</sup>】

本校は、公益財団法人アジア学生文化協会(1957年設立、内閣府認定機関)を母体として、2014年に開校した。本校では、大学学部進学のほか、社会的なニーズや学生のニーズが高まってきている、日本企業などへの就職指導にも力を入れている。また、高度人材として社会的に高まっているニーズ、介護やIT分野についても、学生受け入れ制度の研究を始めている。

## 2. 学校運営

①学校の理念に沿った運営方針と事業計画が、毎年、策定され、実施後、レビューしている。

【達成度 A】

毎年3月、理事会と評議員会で、新年度計画を討議、策定している。また、毎年、5月には前年度の実績を理事会、評議員会に報告し、協議の上、翌年度に活かしている。また、教職員各自に、自己点検をもらい、個別の課題を報告してもらうなど、自己点検表の提出を義務付けており、学校の理念や運営に沿うよう、確認をしている。

②学校の理念に沿った運営体制ができています。

・組織運営、人事体制、財務管理に関する規定の整備、意思決定システムの整備、コンプライアンス体制の整備

【達成度 A<sup>+</sup>】

毎年、年度初めに教職員に辞令を発行している。また、組織図と分掌事項を毎年度開始前に教職員に配布し、徹底している。財務管理については、財務管理規程に基づき、顧問契約している公認会計士が会計を確認している。教職員には毎年、自己点検表にて当年度の評価と新年度の課題について、各自記入させ、各自の課題を含めた、人事体制の過不足などを判断している。  
また、毎週1回、校長を中心に連絡会議を開き、課題等について教職員で共有する機会を設けている。同会にて、法律などの改正などについても適宜、報告がある。組織体制、人事体制、財務管理については、顧問契約をしている社労士ならびに公認会計士にも法令面など、随時、確認を行っている。

### 3. 教育活動

①教育理念に沿った教育課程が体系的に編成されている。

【達成度 A<sup>+</sup>】

日本語力の体系的な向上のため、10段階のクラスレベルを設定している。教育理念に沿った多様な選択科目が用意されており、また、3ヶ月に一度の定期試験により、全学生の成績が確認されている。

②成績、評価や進級、修了の判定基準は明確、適正に運用されている。

【達成度 AA】

3ヶ月に一度の定期試験、成績に基づく評価、出席率などに基づく修了判定基準は明確であり、修了基準に基づき卒業証書の発行可否なども明確に定められている。

③教員の指導力向上の為の取り組みが行われている。

【達成度 A】

専任講師による指導に加え、教員の指導力の向上や教員同士の協働を目的として、今年度から、月に1～2回、土曜日に講師の勉強会を始めている。この勉強会は、講師が一方的に講義をするのではなく、教員が協働しながら研修できるよう、交替で取り組んでいる。講師を招いての研修会も年2回程度開いている。

④教育課程改善のための取り組みが計画的に行われている。

【達成度 A<sup>+</sup>】

これまで、「TRY 文法から伸ばす日本語 N1～N5」(日本国内・海外での販売)の教材開発などを通じて、当校のカリキュラムの改善を図ってきた。また、学生アンケートと講師会議により、改善点を見出し、改善策を立てている。非漢字圏の学生が増加していることに伴い、これまで懸案だった非漢字圏の学生、特にタイ人学生の読解力向上実験(略して、「タイ読実験」)を今年度、開始した。今後、実験データを集め、教育課程の改善にさらに役立てていく予定である。

### 4. 学修成果

①学生の日本語能力の向上が計画的、効率的に図られている。

【達成度 A】

日本語力の体系的な向上のため、10段階のクラスレベルを設定し、3ヶ月に一度の定期試験により、日本語力の到達度を確認する体制を取っている。非漢字圏の学生への漢字特別指導を実施するなど、学生の特性に応じた指導による能力向上を図っている。学習上の困難のある学生に対して、授業担当講師およびコーディネーターによる指導をしている。

②日本語能力の向上が学校、教職員で、適切に把握されている。

【達成度 A】

3ヶ月に一度の定期試験や授業内での小テストの結果などを、教務と学務の教職員で共有し、達成度に問題のある学生を把握し、指導を加えている。試験成績以外にも、学習状況について、授業担当講師からコーディネーター、教務主任、学務、校長と報告、共有する体制を取っている。

③学生の進路を学校、教職員で適切に把握している。

【達成度 A<sup>+</sup>】

進路希望調査を前期に2回、後期に1回行い、各自の進路希望を調査し、サーバーにデータを保管し、情報を共有している。受験調査を前期は1回、後期は毎月末を締切りとして、受験中、受験予定、受験結果についてもデータでサーバーに記録し、共有する体制となっている。卒業が近づく1月～3月には、クラス担当だけでなく、教職員が進路指導、サポートに全力を注いでいる。

### 5. 生徒支援

①学生の学習相談や進路、健康管理に対する支援体制が整備されている。

【達成度 A<sup>+</sup>】

各クラスの担任に相当する、クラス担当者が1名、また、クラスレベルごとに2～3クラスごとに1名、コーディネーターを配置し、学習相談、進路に対する学生と教員への支援体制を備えている。また、1週間に一回、コーディネーターは各クラス担当に、出欠状況、健康状況、進路・成績の3項目等を確認、クラスレポートを作成し、グループウェアにより教職員でデータ共有している。さらに、その報告に基づき、1週間に1回行う、教職員定期連絡会でフォローアップしている。

②生活指導の支援体制が整備されている。

【達成度 AA】

各クラスの担任に相当する、クラス担当者が1名、また、クラスレベルごとに2～3クラスごとに1人、コーディネーターを配置し、生活指導を随時、行っている。また、当校の設立母体であるアジア学生文化協会は寮の運営をしており、その寮に入寮している学生は当校では全体で7割いるが、毎月1回、学校と寮管理部で定例会議を開き、学校と生活の問題を絶えず、共有している。

④防災や緊急時における体制が整備されている。

【達成度 AA】

年に2回、寮と合同で避難訓練が行われている。また、教職員で、「消防・防災チーム」が組織されており、5つの係り、通報連絡班、初期消火班、避難誘導班、応急救護班、安全防護班に分かれている。各自、役割分担をすべく、各班で具体的にどのような活動や作業が必要か、常に考えてもらっている。また、「災害対策安否確認システム」を学校全体で、取り入れており、地震等の大災害時には自動的に学生に緊急通報が流れ、学生の安否確認や位置情報を自動取得できるシステムとなっている。同システムは、年に4回、学生だけでなく、全教職員含め、模擬訓練の実施をしている。さらに、クラス授業では、防災館に行き、地震、火災体験をすることがカリキュラムに組み込まれている。

## 6. 教育環境

①学校の施設・設備が十分かつ安全に整備されている。

【達成度 AA】

教室、教職員室、保健室、図書室、障害者用トイレなどの施設は法律で定められた通り設置されている。教室広さは基準値よりも大きく取られている。また、当校は完全バリアフリーで設計されている。学生用にWiFiのアクセスポイントが校内に設置されているが、今年、電波帯域を増やし、学生の便宜をさらに図った。避難通路、消火器設置、避難扉、防火シャッターなど適切に設置されており、法定点検も法令通り、適切に行っている。

②教材は適切なのか絶えず研究、検討され、学校、教職員で把握している。

【達成度 A】

使用教材に関し、授業担当者からコーディネーター、教務主任に報告、共有をし、その研究、検討結果に基づく教材使用計画を学校、教職員で共有している。学内使用教材の作成、改訂、および、新しく出版された教材の比較検討を常に行っている。

③日本語の学習効率を上げるための学習環境改善、教材整備などを行っている。

【達成度 A】

図書室の日本語教材、一般図書の拡充、整備を常に図っている。これらの書籍は学生への貸し出しも行っており、利用率も高い。学生が調べ学習や練習に利用できる共用のPCを設置している。教室、廊下、図書室には掲示板を設置し、学習に有用な情報や、学生の学習成果物の掲示を行っている。また、1か月2回程度、授業への日本人ボランティアの導入を行っている。

## 7. 入学者の募集

①入学者の募集は適切に行われている。

【達成度 AA】

当校では30年以上、日本語学校を運営してきたノウハウを持つアジア学生文化協会を母体としており、学生募集についても、これまでのノウハウを受け継いでいる。さらに、本校では海外の大学と、直接、協定を締結し、これら信頼できる協定校などを通じた募集体制を築いている。

②学校情報は正確に伝えられている。

【達成度 AA】

学校案内、ホームページともに10言語で作成されており、情報を母語で見て理解してもらえるようにしている。また、海外の募集拠点には詳細な当校説明ファイルも置かれている。来日後、大学院への進学や就職を希望する学生などには、入学前に学歴などに応じて進学できない、就職できないなどの確認書を個別に送り、確認をしている。

③授業料等の納付金は適切である。

【達成度 AA】

本校は学校法人であり、授業料等の納付金の額を決定する際に、東京都の指導と審査により認可を受けている。また、決算書から見ても、学生から徴収する納付金の額は適切である。

## 8. 財務

①中長期的な財務基盤の把握をし、安定しているか確認をしている。

【達成度 A<sup>+</sup>】

当校設立後、3年間、受け入れ学生数は右肩上がりに増加し、現在、施設最大限の定員増員を申請したところである。当分の間、同水準を維持すると予測しており、中長期的には財政基盤については問題ないと認識している。今後、施設の増設などをにらみ、施設拡充の資金を蓄積することが次の課題と思われる。

②予算、収支計画は有効かつ妥当である。

【達成度 A<sup>+</sup>】

予算書は顧問契約している公認会計士が適宜、チェックしている。また、収支計画については、毎年、理事会と評議員会で討議され、決定されており、有効かつ妥当である。

③財務の会計監査は適切に行われている。

【達成度 AA】

会計資料は全て顧問契約をしている公認会計士がチェックしている。また、監事による監査が決算ごとに行われており、理事会ならびに評議員会にも適切に報告がなされている。

④財務情報の公開の体制はできている。

【達成度 AA】

財務情報については、公開できるファイルに保管されている。また、監事による監査でも、その点、確認を受けている。

## 9. 法令順守

①入管法や関係法令の遵守と適切な運営がなされている。

【達成度 AA】

法務省や東京都、各種関係機関が主催するセミナーには積極的に参加し、必要な情報は毎週一回行われる教職員の連絡会で随時、報告される。また、校内LAN設備とクラウド上のグループウェアシステムにより、構内だけでなく自宅や出張時などでも、情報共有が図られ、随時、適切な処置が講じられている。

②個人情報保護の取り組みを行っている。

【達成度 AA】

学生個人情報の入っているキャビネット全ては鍵がかけられている。また、教職員が使うパソコンも全て鍵のかかるキャビネットにしまって、帰宅することが徹底されている。学生の個人情報が含まれている答案などの廃棄はシュレッダーがかけられるなど、意識をして廃棄されている。また、教職員の連絡先などは、鍵のかかるキャビネット内にしまわれている。

③自己点検の実施と改善に計画的に取り組んでいる。

【達成度 AA】

校長を中心に、事務長、教務主任が組織的に学校についての自己点検を行っている。毎年、年度末に学校自己点検を行い、改善事項があれば、翌年度の計画に取り入れている。また、教職員にも、年度初めに前年度の個人評価と新年度の課題をあげさせるなど個人別の自己点検も実施している。

## 10. 地域貢献・社会貢献

①日本語教育機関の資源や施設を活かした社会貢献、地域貢献をしている。

【達成度 AA】

近隣の小学校などと国際交流会を行ったり、近隣の小石川高校からの依頼により、講師として学生の派遣をしている。また、文京区や荒川区が主催する国際交流会などの催しにも積極的に参加をしている。

②学生のボランティア活動の支援をしている。

【達成度 A】

当校の地元である文京区や近くの荒川区が催す活動などを積極的に学生に広報し、参加を呼びかけている。

③公開講座などの実施をしている。

【達成度 A<sup>+</sup>】

文京区と無料公開講座を当館で共催するなど、地域住民を対象とした講座に協力をしている。  
また、公開講座ではないが、当校で実施している勉強会は当校教職員だけではなく参加できるようになっており、公開講座のような役割を果たしている。

#### 達成度評価

AA	90%以上達成
A <sup>+</sup>	80%以上達成
A	70%以上達成
B <sup>+</sup>	60%以上達成
B	50%以上達成
C	50%未満

以上